

北海道は全国有数のアスパラガス産地（作付面積のシェア：24.6%、平成29年）であり、重要な作物です。これまで主要な栽培品種として「HLA-7」（パイオニアエコサイエンス）や「スーパーウェルカム」（サカタのタネ）などが主に使われてきましたが、近年は新たな品種も種苗会社各社よりリリースされています。しかし、アスパラガスは多年生の植物であり、収量性をはじめとした重要な特性の把握のためには複数年にわたる調査が必要であるなど、品種比較試験の実施に期間および労力が必要となる作物です。このため北海道内でアスパラガスの品種比較試験を実施する箇所が減少しており、特に新品種の特性に関する情報が十分には得られない状況となっています。このため、当課では平成26年に慣行品種である「HLA-7」および「スーパーウェルカム」に加え、新品種等を供試して品種比較試験圃場を設置し、平成29年までの4か年、試験を実施しました。

【試験方法】

作型は露地春どりで試験を実施しました。播種は平成26年2月18日に行い、鉢上げを3月27日に、定植を5月26日に実施しました。栽植密度は畦幅1.5m、株間は30cm（2,222株/10a）としました。なお、ベッド幅90cmの高畦栽培とし、標準品種を「HLA-7」として試験を実施しました。

平成27年度は春期に約5日間、平成28年度は約3週間、平成29年度は約4週間の収穫調査を行い、秋期の生育調査も各年度実施し、各品種の評価を行いました。

【結果】

表1に、累年の試験結果概要を示します。総重量は「HLA-7」、「ゼンユウガリバー」「ウェルカムAT」が高かったです。しかし、「HLA-7」は頭部の開きが比較的多く規格内率を下げる要因となりました。一方、「ゼンユウガリバー」は頭部の開きが遅く、規格内率が高いため有望であると考えられました。また、「ウェルカムAT」は2L規格以上の太物の収穫が多いという結果になりました。

表1. 累年試験結果概要

	品種名	種苗会社	総重量	規格内率	規格内太物率	生育指数	耐倒伏性	耐斑点病
グリーン	HLA-7	パイオニア	◎	×	△	◎	○	□
	ゼンユウガリバー	パイオニア	◎	◎	△	◎	□	○
	スーパーウェルカム	サカタ	○	□	×	○	○	□
	ウェルカム	サカタ	△	○	×	×	○	△
	ウェルカムAT	サカタ	◎	△	○	○	◎	□
	クムラス	ベジヨー	○	△	□	○	△	△
	マグナス	ベジヨー	○	△	△	◎	○	○
	プリウス	ベジヨー	○	○	△	△	△	×
	シグナス	ベジヨー	□	×	○	○	○	□
紫	満味紫	パイオニア	×	◎	△	×	△	△
	パーガンディー	シンジェンタ	△	◎	△	△	△	△

評価記号：◎優れる、○やや優れる、□並、△やや劣る、×劣る